



令和3年 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質や能力

学校教育目標 『豊かで調和のとれた子の育成』 ～たくましく生きる人 なかよく生きる人～	 	教育課程全体で育成を目指す資質・能力 A 自分づくりに関する力 B 問題発見・解決能力 C 持続可能な社会の創造に貢献する力
--	--	--

(2) 中期取組目標

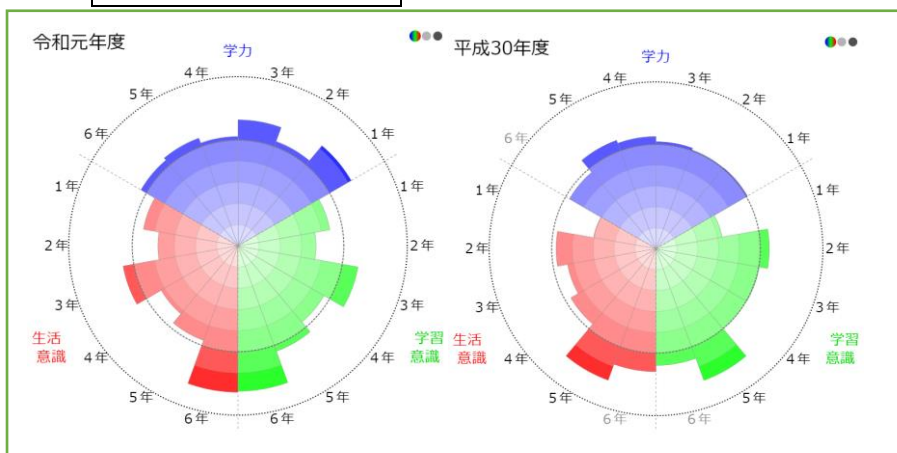
中期取組目標
○子ども一人ひとりを大切にしながら、まちと保護者とともに歩む学校にします。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、楽しく学校生活が送れるようにします。 ・学習の楽しさを実感できる授業づくりを進め、思考力・表現力を育てます。 ・まちの自然、人、ものと豊かにかかわり、まちを愛する心を育てます。

(3) 学力向上に向けた重点取組

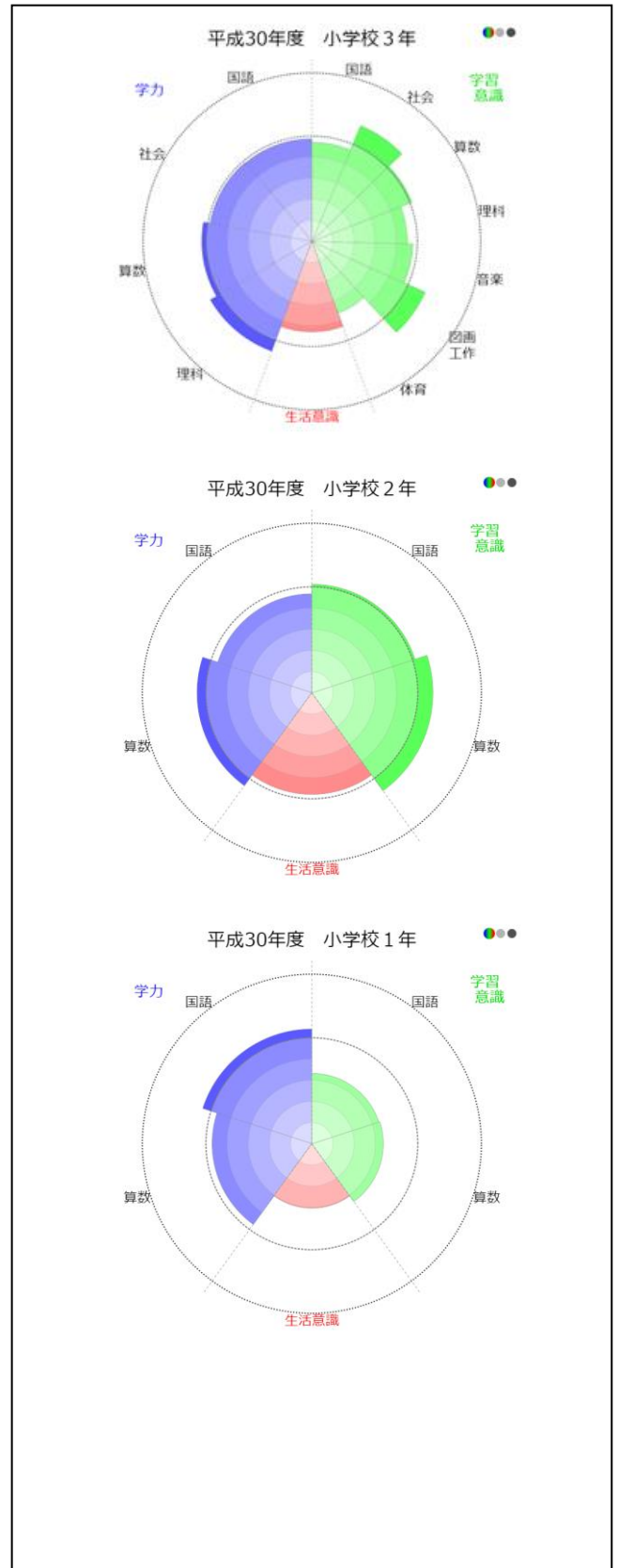
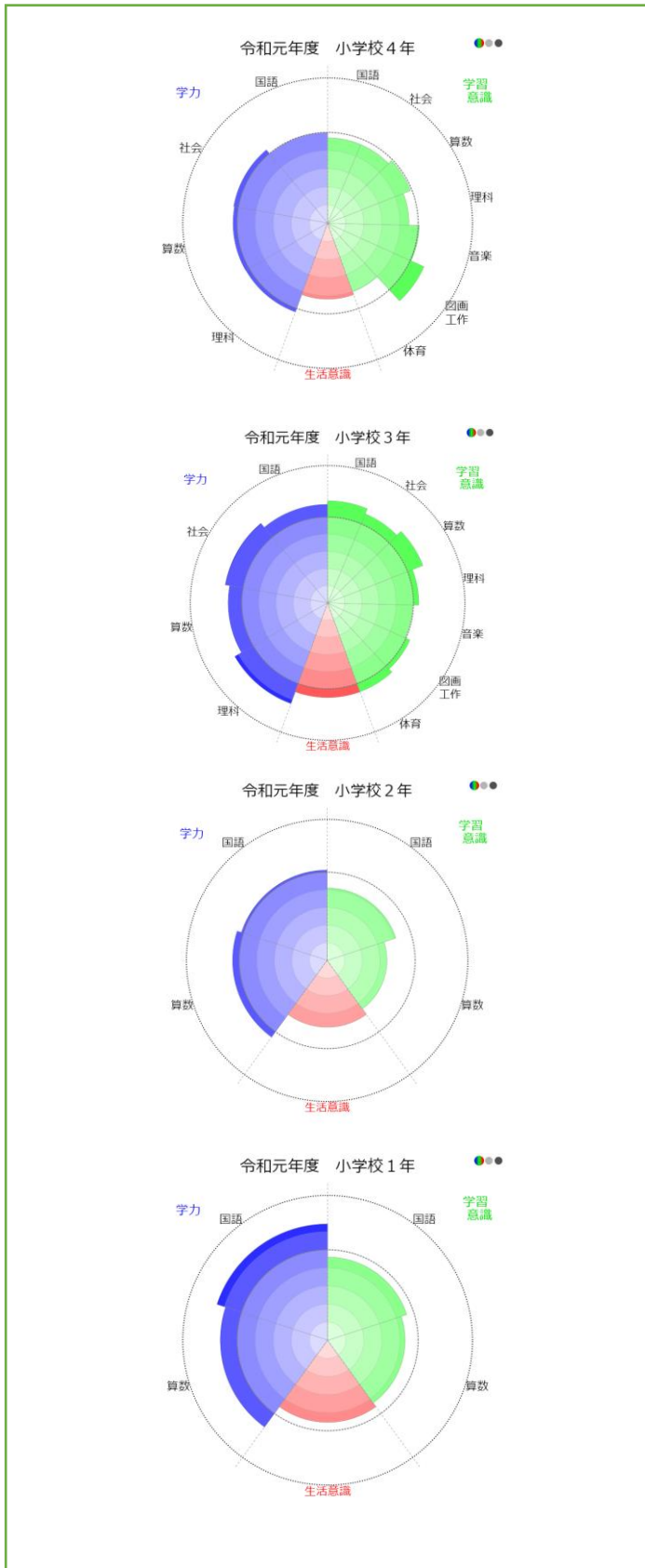
重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知 担当 学習指導部	① 全教員で国語の指導方法を読解力の側面から研究し、子どもの思考力・判断力の育成に取り組む。 ② 書く活動やグループ討議などを取り入れ、子どもの考えを引き出す授業に取り組む。 ③ 3・4年生で算数のT・Tできめ細かな指導を行う。 ④ 授業で粘り強く取り組む態度を育み、家庭学習の習慣化と中・高学年で自学ノートを通して自ら学ぶ力を育てる。 ⑤ 5・6年生で担任間の理科・社会・体育の指導教科交換を取り入れ、教科担当制の拡張により、学びの質が高まるようにする。

2 横浜市学力・学習状況調査から実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析



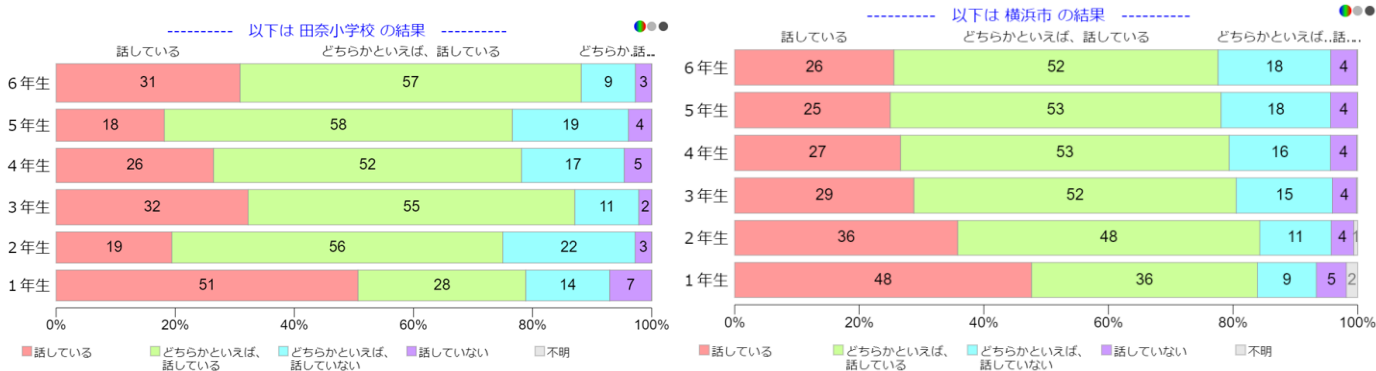
令和2年度の横浜市学力・学習状況調査の実施がなかったため令和元年度の実態を挙げると、令和元年度1～4年生の実態が現3～6年生の児童を表していることになる。平成30年度1～3年生と令和元年度2～4年生を比較して、学力・学習意識・生活意識のチャートが広がりプラスとなった。



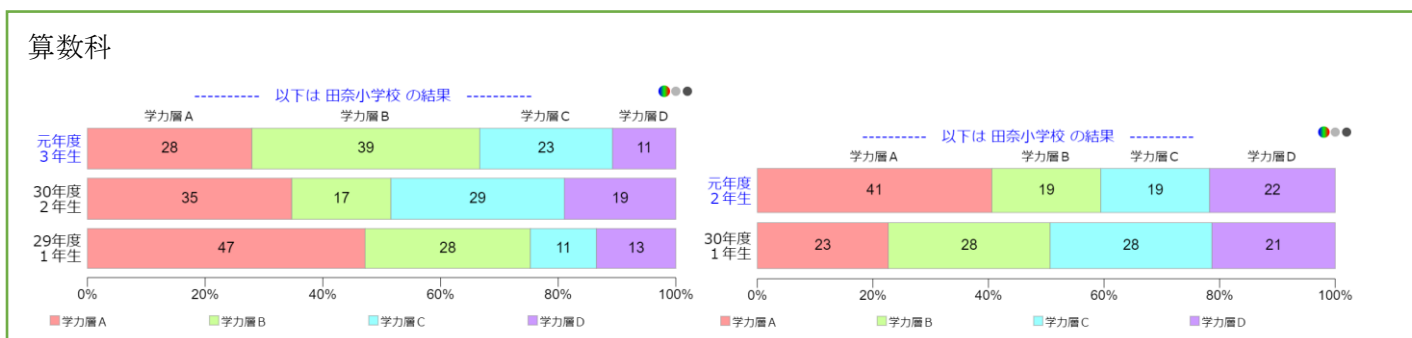
また、令和元年度の1～4年生の算数科は市平均よりも上回る結果となり、平成30年度よりも伸びている。2年間続けてきた算数科の重点研究において、既習事項を生かし主体的に問題解決をしていく授業づくりを大切にしたことなどがその要因と考える。

しかし、問題文を読み取る読解力が弱いため、問題に取り組むことが難しい様子が見られ、言いたいことを分かりやすく伝える言葉を選んだり、順序良く説明したりする力には差があった。簡潔明瞭に伝えることはまだ難しいといった課題も見えてきた。学習意識調査では、「相手やめあてにそって、分かりやすく話していますか。」という設問に対して「話している/どちらかといえば話している」と回答した児童が市平均の割合を若干下回っていた。そこで、今年度重点研究として国語科に取り組み、自分の思いや考えを豊かに表現する子の育成に取り組んでいく。

「相手やめあてにそって、分かりやすく話していますか。」



(2) 学力層を経年変化で捉えた分析

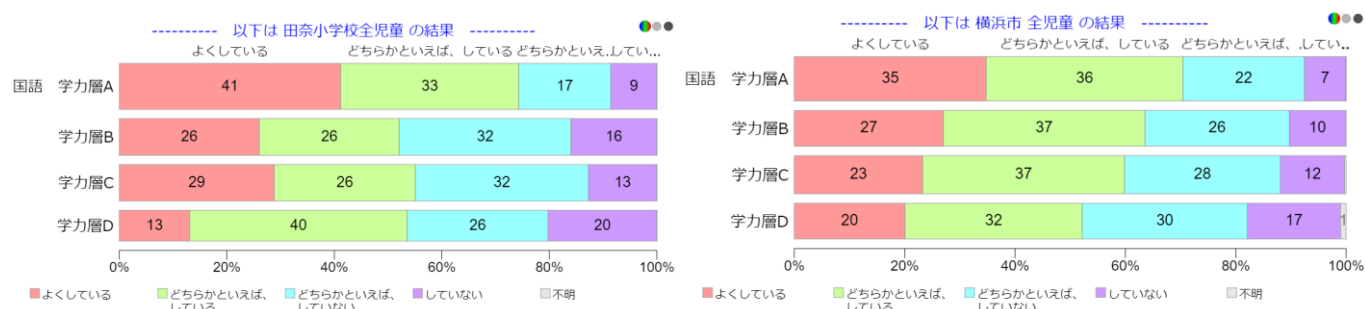


令和元年度の算数科の学力層分布は、プラス傾向を示す学年が多く確認できた。例えば、AとB層を合わせた割合の伸びが見られたり、D層の割合が約20%から約10%に減るのが見られたりしている。既習事項を生かすことについて掲示物や手立てを工夫することが、「苦手な児童」や「関心のない児童」等に分かりやすい授業づくりに繋がったと考えられる。

(3) 学習意識・生活意識と学力層とのクロス集計による分析

国語科の学力が低い児童は算数科の学力も低い傾向にあること、授業でノートを書いていねいに工夫して書けない児童、家でほとんど勉強しない児童、読書をほとんどしない児童は、学力層Dになりがちなこと等がクロス集計において分かった。また、学力層BとCの児童において、「授業では自分の考えを発表していますか。」という設問に対して、「よくしている/どちらかといえば、している」と回答した児童の割合が市の平均を下回っている。授業での学び方(ノートのとり方、話合いの仕方など)の指導の工夫とともに、保護者との連携を図りながら、宿題の実施、自学ノートへのチャレンジ、読書活動の推進等、家庭学習の充実も推進していきたい。

4 授業では、自分の考えを発表していますか。



3 令和3年度 教科等を通して育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<p>主体性・積極性</p> <p>地域を愛する気持ち</p> <p>好奇心</p> <p>基本的な生活習慣をつくる態度</p> <p>身近な事象に積極的に関わる態度</p> <p>他者の考えや思いに対する受容性</p> <p>自分の思いをもって、素直に表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムを通して育まれた力を生かし、生活科を中心に、身近な人や物、事象に好奇心をもち、積極的に関わることができるようにする。 ・基本的な生活習慣をつくる態度を育むために、掲示物を利用してわかりやすく伝え、小学校生活に慣れるようにする。 ・姿勢やあいさつ、丁寧な言葉で話すことなど場面に応じて指導し、生活に必要な態度を育てられるようにする。 ・国語科を通して、話を最後まで聞き、分からないことや詳しく知りたいことを尋ねて対話する活動を充実させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉や木の実などを使って様々な遊びを知り、好奇心を育むとともに、秋祭りを通して互いの遊びを積極的に楽しむことができるようにする。 ・昔あそびを体験することで、好奇心を育むとともに、積極的に身近な人と関わろうとする態度を育む。 ・学校生活の基本的な生活習慣を定着できるようにする。 ・ノートの書き方を示したり、声ものさしを示したりすることで、ノートを見やすく書いたり、適切な声の大きさと話したりし、基本的な学習習慣を育てられるようにする。 ・国語科を通して、説明や紹介に使う言葉を知り、ペアや小グループで話し合う活動を増やすようにする。
2年		<ul style="list-style-type: none"> ・生活科を軸として、1年生との交流、野菜の栽培やまちたんけんなどの活動や体験を通じ、身近な人や事象に積極的に関わろうとする態度を育む。 ・基礎基本を確実に定着させるために、日々の授業の中で、学習のルールをしっかり身に付けさせるようにする。 ・相手の話をよく聞き、また自分の思いや考えを伝えることができるようにする。 ・国語科を通して、自分の感じたことを書いたり、話したりする活動を充実させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近にある物で遊びや遊びに使う物を作る面白さや、自然の不思議さ、みんなで遊ぶ楽しさに気づき、他者に楽しさを伝えようとする姿を育てる。 ・今週のニュースなど、書く活動を継続し、言葉のもつよさを感じて、思いや考えを文章で伝え合おうとする姿を育てる。 ・国語科を通して、文章の中で大事な言葉や文に着目させながら読むことができるようにする。
3年	<p>主体性・積極性</p> <p>地域を愛する気持ち</p> <p>事実等を正確に理解する力</p> <p>問題解決の過程を振り返る力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・梨園を経営されている地域の方と見学やインタビューなどの交流を図ることで地域を愛する気持ちや他者を理解する態度を育む。 ・蚕を育てる活動を通して、育て方や繭の活用などの様々な問題を自分事としてとらえて、積極的に考えられるようにする。 ・国語科を通して、理由をつけて意見を言うことを大切にしながらか話し合い活動をするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科等で主体的に見学・調査したことを説明する文章、記録する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付け、他者を理解する態度を育む。 ・国語科を通して、お互いの意見の共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合う場面を位置づけるようにする。
4年	他者を理解する態度、自己を理解する態度	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教科の学習でも主体的に問題を発見したくなる課題を設定し、問題発見力を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊体験学習に向けて主体的に取り組むとともに、積極的に情報を集め、まとめたり表現したりすることができるようにする。

	<p>協働的に行動する力</p> <p>相手意識をもって、自分の考えをしっかりと伝え合い、互いの感じ方や考えの違いに気付く力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験をきっかけに、誰もが同じように社会の中で生きていく姿を理解して、自他の考えの共通点や相違点に気付き、よりよい考えに高めていけるようにする。 算数TTを効果的に行い、児童一人ひとりの表現力を高め、主体的に学習しようとする意欲を高める。 国語科を通して、自分の考えや思いを伝え、また、相手の考えや思いを受け止める活動を充実させていくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数TTを効果的に行い、課題解決の過程を通してできるようになったことや分かったことを振り返り、新たなものの見方、考え方を身に付けるようにする。 国語科を通して、自分の考えの根拠を明確にして伝えていく活動を大切にできるようにする。
5年	<p>主体性・積極性</p> <p>地域を愛する気持ち</p> <p>夢や憧れを描く</p> <p>解決策を実行する力</p> <p>伝え合うことで自分の考えを深化させる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 米作りを通して、自ら問題を発見し、課題を解決するために共同的に行動する力をはぐくむ。 道徳や宿泊体験学習を通して、自分を見つめ友達を理解し、多面的多角的な見方ができるようにする。 国語科を通して、日常生活の中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 米作りを活用した学習を継続し、地域、人と関わり、生き方を知り、課題解決に向け、探究し続け、自らの考えを深めていく。 国語科を通して、自分の思いを素直に表現し、相手に伝わるように表現を考え、話し合うこと大切にできるようにする。
6年	<p>メタ認知する力</p> <p>相手意識、目的意識を明確にした伝え合いを通して、自分の考えを広げたり深めたりできる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動を通して、友達の意見をよく聞き、そこから考えを深めて自分の考えを比較・検討する力を育む。 社会科や理科学習を軸として学習問題を自ら見つける、考える力をつける。 ワークシートや振り返りカードの活用や共有をすることで自分の考えを整理させ、更に考えを深めようとする姿を育む。 国語科を通して、相手の意見を聞き入れながら自分の考えを深め、組み立てる経験をさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 田奈のみりなどの発表学習を通して、総合的な学習の時間を充実させ、活動していく中で仲間と協働していく力を身に付けさせる。 様々な学習を通して、多様性を尊重する態度を養い、互いのよさを生かして協働的に行動する力をつける。 国語科を通して、曖昧な点を明確にしたり、共通点や相違点を明確にしたりするとともに、説得力のある話し方を工夫して表現できるよう場を設定するようにする。
個別支援学級	<p>◇好奇心</p> <p>◇身近な事象に積極的に関わる態度</p> <p>◇基本的な生活習慣をつくる態度</p> <p>コミュニケーションの基礎的な能力を身に付け、自分の思いや考えを表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 異学年での集団学習や個別学習など児童の発達に即した学習形態をとり、各学年の学習事項を網羅した学習内容になるようにし、充実した教科学習を行う。 区合同宿泊体験学習に向けて、身辺処理や環境調整を学び、自立した生活習慣の確立を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 異学年での集団学習や個別学習など児童の発達に即した学習形態をとり、各学年の学習事項を網羅した学習内容になるようにし、充実した教科学習を行う。 栽培活動やまちたんけんで自然や人と触れ合い、身近な事象に積極的に関わろうとする態度を育む。